



2026年5月8日

各 位

会 社 名 株式会社 ゲオホールディングス
代表者名 代表取締役社長執行役員 遠藤 結蔵
(コード番号:2681 東証 プライム市場)
問合せ先 執 行 役 員
グローバル経理財務部 梶田 義章
ゼネラルマネージャー
(TEL 052-350-5711)

特別利益及び特別損失の計上並びに通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)において特別利益及び特別損失の計上を行うとともに、2025年5月9日に公表しました通期連結業績予想と、差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

当社は、2025年11月28日付で株式会社セカイズの株式を取得いたしました。これに伴い、負ののれん発生益1,592百万円を特別利益に計上いたしました。

2. 特別損失の計上について

当社グループが運営している店舗などに係る固定資産の将来の回収可能性を検討した結果、減損損失4,277百万円を計上いたしました。

3. 通期連結業績予想値と実績値との差異

(1)2026年3月期 通期連結業績予想値と実績値との差異(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	470,000	11,500	11,000	5,500	138.50
実績値(B)	481,249	14,239	15,348	8,738	219.77
増減額(B-A)	11,249	2,739	4,348	3,238	
増減率(%)	2.4%	23.8%	39.5%	58.9%	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	427,669	11,250	12,224	4,537	114.27

(2) 差異の理由

売上高におきましては、セカンドストリート事業の既存店売上が堅調に推移したことに加え、国内の新規出店が順調に進捗したことが業績に寄与いたしました。また、ゲオ事業におきましては、「Nintendo Switch 2」本体の販売が好調に推移いたしました。以上の結果、売上高は前回発表予想を上回りました。

営業利益におきましては、増収による利益の押し上げに加え、販売費及び一般管理費が広告宣伝費の内製化による抑制や、システム開発運用費、物流費等の未消化により、営業利益の伸長が経費増加を上回る結果となり前回発表予想を上回りました。

経常利益におきましては、営業利益の増加に加え、為替差益762百万円を営業外収益に計上したこと等により、前回発表予想を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益におきましては、上記1・2の計上があったものの、経常利益が当初予想を上回ったこと等により、前回発表予想を上回りました。

以上